

【令和4年度ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成】

荒井地区における地域企業の通勤バスを 活用した地域モビリティの実証実験

(荒井モビリティ社会実験)

申請団体①

一般社団法人荒井タウンマネジメント



荒井タウンマネジメント
ARAI TOWN MANAGEMENT

申請団体②

産電工業株式会社



産電工業株式会社

1. 事業実施団体について



荒井タウンマネジメント
ARAI TOWN MANAGEMENT

■ 荒井地区の長期的な価値向上につながるまちづくりの持続的に推進するまちづくり会社。2013年5月に設立。

■ 主な活動内容（実績）

① コミュニティ形成事業

- ・ 荒井なないろマルシェ運営など

② 賑わい創出事業

- ・ 仙台海手交流促進事業など

③ 官民連携事業

- ・ 荒井東1号公園スポーツパーク運営

④ エコタウン事業

- ・ EMS事業 ・ 太陽光発電

⑤ 不動産賃貸事業

- 荒井地区のコミュニティ形成、健康促進、経済効果向上を目標とし、これまでも協働・連携により、多くの取り組みを実施している
- 昨年度の課題調査検証助成「荒井地区における地域企業の通勤バスを活用した地域交通のニーズ調査」を協働して実施



産電工業株式会社

■ 電気工事業、電気通信工事業ほか制御盤・配電盤、監視・制御装置の設計、製造、関連ソフトウェア開発などの事業を行う。1952年10月創業。

■ 2020年に産電ホールディングスグループ拠点「創造開発センター」完成に伴い、本社機能を荒井東地区に移転



荒井駅⇄産電HDグループへの通勤バスの運行実施中

運行時間帯
駅→会社=7:00~8:45
会社→駅=17:45~20:00



2. 令和3年度の実施内容【荒井モビリティのニーズ調査】

(1) 現状の把握

- 荒井東地区南端にある産電工業(株)は荒井駅から約1.5km(徒歩約20分)の距離があり、使い勝手の良い路線バスも無いことから、自社手配による通勤バスを平日朝夕に運行(朝7:00~8:45・夕17:45~20:00)し、社員約40人が利用している。日中は通勤バスが稼働しないため、地域のニーズに応じた活用も検討したい意向がある。
- 地域の方々から荒井TMに寄せられる意見の中には「買い物に行くためには路線バスの利用勝手が悪い(バス停が遠い、本数が少ない、行先路線が無い…)」など地域交通に関する声は少なく無い。
- これらの状況を踏まえ、企業のリソースと地域のニーズをマッチング、すなわち、通勤バスの非稼働時間帯を中心に“地域モビリティ”としての活用することで、地域住民の外出機会の増加につなげ、住民同士の交流や地域のお店等への経済効果などを目指したい。

(2) 事業の目的

- 「荒井モビリティ」が持続的に運行され、地域企業従業員や地域住民の移動手段として定着し、住民同士の交流や地域のお店の活性化につながっている。

(3) 令和3年度事業の目標と実績・成果

- 令和3年度は、町内会の協力を得て1000世帯を対象に、地域での暮らしや移動に関するアンケート調査を実施し、住民ニーズを把握する。
- それらを踏まえ、通勤バスを活用した地域交通の可能性を整理する。

事業概要	実績・成果 ※地域交通政策の専門家の指導を受けながら進めた。
(a) 地域での暮らしや移動に関する 住民アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> • 4町内会の会員約2,400世帯に配布 • 有効回収数686件の回答を得て、吉田ゼミにて集計・分析を実施
(b) 住民アンケート調査の結果をふまえた 運行内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> • 食料品買物に行く人をメインターゲットとして、平日10～11時台、14～16時台、週2日程度の運行を軸に検討
(c) 事業化に向けた 運行体制や制度的な課題の整理	<ul style="list-style-type: none"> • 当法人が産電工業との協働事業で実施する方向で検討 • 「乗合バス」ではなく「貸切バス」（道路運送法における一般貸切旅客自動運送事業）で運行を検討 • 令和4年度の実証実験では、モニターにICカードを貸与し、利用実態やニーズ把握を踏まえ、事業化（月額料金制を想定）を検討していきたい。

(4)事業の実施体制

荒井タウンマネジメント

- アンケート調査の実施主体
- 町内会等地域や仙台市関係各課との連絡調整

産電工業

- 非稼動時間帯の通勤バスを地域モビリティとしての提供



通勤バスをICT技術によって地域に開こうとする産電工業と、町内会や地域企業と共にまちづくりに取り組む荒井TMが協働することで、地域ニーズに最適化され、持続可能性の高い地域モビリティを実現に近づけることができる。

連携

地元町内会

(中荒井, 下荒井, 荒井広瀬, 荒井東)

- アンケート配布・報告会参加

連携

福島大学 吉田ゼミ

(吉田先生: 地域交通政策の専門家)

- 本事業のアドバイザー
- アンケート調査項目のアドバイス、集計・分析

(5) 事業スケジュール

(6) 使用経費

	(a)アンケート	(b)運行内容 の検討	(c)課題の整理
8月	調査票の検討		
9月	町内会への 協力依頼		
10月	調査票の 印刷・配布		
11月	回収		
12月			
1月	集計・分析		
2月			
3月	報告会	運行内容 の検討	課題の整理

事業費総額 558千円

収入内訳

・助成金 500千円
・自己負担 58千円

支出内訳

・人件費 106千円
・報償費 260千円
・印刷費 139千円
・通信運搬費 53千円

令和3年度のアンケート調査の結果のポイント①

食料品の買物・通院の目的地／外出頻度

■ 食料品の買物

店舗名	回答者数
ヤマザワ 荒井店	210 35.1%
サン・マルシェ 荒井店	125 20.9%
ヨークベニマル 仙台六丁の目店	114 19.0%
みやぎ生協 荒井店	56 9.3%
カワチ薬品 荒井駅前店	23 3.8%
ツルハドラッグ 仙台荒井東店	22 3.7%
スーパービッグ 六丁の目店	16 2.7%
カワチ薬品 仙台東店	14 2.3%
ヨークベニマル 福田町店	6 1.0%
食彩館イトー閑上店	13 2.2%
計	599

買物頻度	回答者数
週に4回以上	136 20.2%
週に2～3回	335 49.7%
週に1回程度	138 20.5%
2～3週間に1回程度	18 2.7%
月に1回程度	3 0.4%
とくに決まっていない	44 6.5%
総計	674

■ 通院

医療機関名	人数
七郷クリニック	25
東北医科薬科大学若林病院	20
のぐち内科クリニック	11
佐藤内科クリニック	9
あらい内科胃腸科	7
はなクリニック	7
わかばやし眼科	7
杜の里内科クリニック	6
仙台医療センター	5
東北大学病院	5

通院頻度	回答者数
週に1回以上	18 2.7%
月に2～3回	33 4.9%
月に1回程度	221 33.0%
2～3か月に1回程度	113 16.9%
半年に1回程度	14 2.1%
定期的には通院していない	271 40.4%
総計	670

令和3年度のアンケート調査の結果のポイント②

目的別代表交通手段

代表交通手段：①～⑧の優先順位に基づき集計

食料品の買物

- ◆「自宅から直接店舗に行くことが多い」サンプルに限定し、集計
- ◆免許あり層：クルマ利用が卓越
- ◆免許なし層：自転車＋徒歩で半数弱を占める

	免許有り	免許なし
①路線バス	0.5%	2.4%
②タクシー	0.2%	3.5%
③自動車（自分で運転）	82.1%	0.0%
④自動車（送迎してもらう）	6.2%	43.5%
⑤バイク	0.0%	2.4%
⑥自転車	4.7%	32.9%
⑦徒歩	5.7%	14.1%
⑧鉄道・地下鉄	0.5%	1.2%
総計	403	85

通院

- ◆免許あり層：クルマ利用が卓越も、地下鉄も1割を占める
- ◆免許なし層：路線バス利用の大半が75歳以上。タクシー利用とあわせて15%を占める

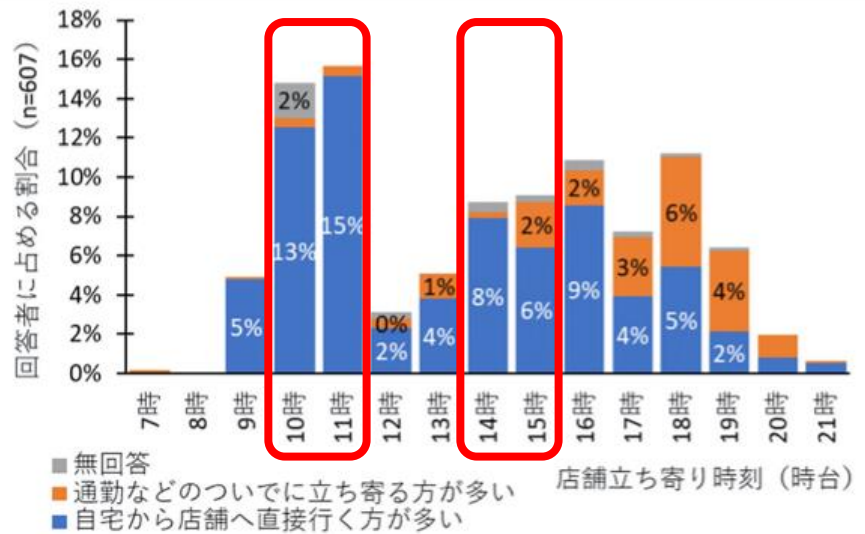
	免許有り	免許なし
①鉄道・地下鉄	10.3%	20.2%
②路線バス	0.7%	8.3%
③タクシー	1.3%	7.1%
④自動車（自分で運転）	70.2%	0.0%
⑤自動車（送迎してもらう）	6.0%	23.8%
⑥バイク	0.3%	0.0%
⑦自転車	4.0%	23.8%
⑧徒歩	7.3%	16.7%
計	302	84

令和3年度のアンケート調査の結果のポイント③

目的別トリップ(交通)発生時刻

■ 食料品の買物 (店舗の立寄り時刻)

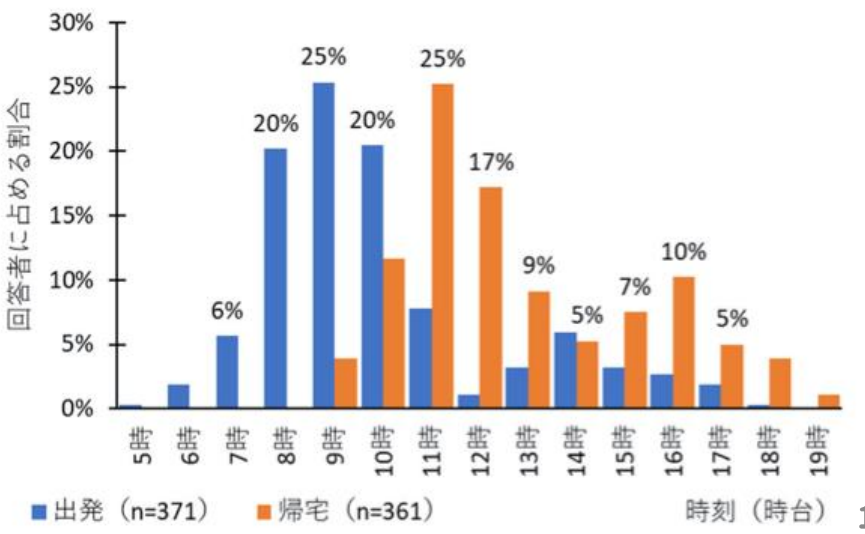
◆ 直接店舗に行く層: 午前
に集中も, 14~16時台
も相対的に多い



■ 通院

◆ 出発時刻: 午前8~10時
台に全体の3分の2割が
集中

◆ 帰宅時刻: 10~13時台
にピークも, 15~16時
台も相対的に多い



3. 令和4年度の実施内容【荒井モビリティ実証実験】

(1) 事業概要

- 令和3年度のアンケート調査分析結果と制度的な課題を踏まえ、地域モビリティの実証実験に向けた運行内容の仮説を次のように整理した。

〈実証実験での運行内容の仮説〉

- ① 地域店舗に食料品を買物に行く人を対象に、店舗立ち寄り時刻のピーク（10～11時台、または、14～16時台）に、週2日程度（水曜日・火曜日）の運行
- ② 「貸切バス」（道路運送法における一般貸切旅客自動運送事業）で運行
- ③ 利用者にICカードを貸与し、月額利用料の設定

- 本事業では、地域交通政策の専門家のアドバイスを受けながら、昨年度整理した上記仮説を軸とした地域モビリティを運行する実証実験を行い、持続可能な「地域企業の通勤バスを活用した地域モビリティ」**荒井モビリティ**の事業化を検討する。

(2)令和4年度事業の実施状況について

1. 運行システムの開発

ようこそ 様

乗りますスポット：
サンマルシェ 荒井店

乗りますスポット位置▼

降りますスポット：
荒井駅

バス到着まで
約 **3** 分

目的地到着まで
約 **6** 分



荒井モビリティシステム開発作業

呼び出しのスマホ画面

(2)令和4年度事業の実施状況について

2. 実証実験前の検証運行(10月21日) ▶**□実証実験は11/1~12/7**

- 実証実験を前に、システムやユーザビリティの検証を目的に、実際にICカードの発行やシステムを使って荒井モビリティの呼び出しと移動、ICカードを使っての乗車・降車を実施。
- 乗車参加者：福島大学5名、荒井TM2名、その他4名



検証運行、実証実験用のバス



検証運行中の車内の様子

主な意見▶**□可能なものは改善へ**

- ◆呼び出しボタンを選択した後の確認画面が欲しい。 ◆呼び出し後のキャンセル機能が欲しい。
- ◆荒井駅表示を荒井駅北口と表記した方がわかりやすい。 ◆市営住宅と市営住宅東の表記が間違えやすい。 ◆スマホ操作なのでしょうがないが画面が小さく高齢者は大丈夫か？ ◆スポット名に番号表示した方がわかりやすい。 ◆バス位置確認画面でバスがどこから来てどこへ行くのが表示した方が見やすい。 ◆降車スポットの写真もほしい。 ◆スーパーの降車スポットが横断歩道から遠い。
- ◆到着時間の通知機能があると便利。 ◆住宅地内にもスポットが欲しい。 ◆乗車中に降車スポットの変更ができると良い。 ◆メーカーや機種によってログイン画面がずれたりスポットの写真が表示されない場合がある。 ◆スマホのセキュリティ設定によりログインできない場合がある。

(2)令和4年度事業の実施状況について

3.モニター(協力者)を50人募集▶□約2,500配布 ▶□ 45名登録

〓 荒井地区を移動が便利な街にしませんか? 〓

企業の通勤バスを活用した日中の移動手段
荒井モビリティの事業化に向けた実証実験への

モニター(協力者)を募集します



※デポジット(預り金)が別途500円必要です

モニター募集期間	モニター実施期間	募集人数	参加費
10.17月まで	11.1火~12.7水 の火曜日と水曜日 10:00~12:00、14:00~16:00	50人 <small>※応募者多数の場合は抽選</small>	無料

対象 中荒井町内会、下荒井町内会、荒井広瀬町内会、荒井東町内会の方々

荒井モビリティの利用方法は簡単です!

STEP 1 荒井モビリティを利用したいときに専用サイトからスマホで申し込みます。



独自システムを利用
※画像はイメージです

STEP 2 指定した最寄りの乗車ポイントにバスが到着します。支給したICカードを乗降口のカード読み取り部にタッチして乗車します。



STEP 3 目的地で下車します。お帰りの際にもご利用ください。



詳しくは説明会があります

モニター(協力者)にご協力いただきたいこと

- 日中の買い物などの移動手段として荒井モビリティをご利用ください。
- ご利用に際して、スマホ操作が必要です。
- 利用方法やスマホ操作に関する説明会への参加と、アンケートへの回答をお願いします。
- 専用ICカードのデポジット(預り金)500円が必要ですが、実証実験終了後、ICカード返却の際に500円を返金いたします。

お問合せ先 **荒井タウンマネジメント**
ARAI TOWN MANAGEMENT

〒984-0032 仙台市若林区荒井七丁目37番地の1 アライデザインセンター202号
Tel.022-352-4774 E-mail.info@arai-tm.com

応募方法などは裏面をご覧ください▶



荒井モビリティとは?

荒井モビリティとは、荒井地区を対象に、住民の外出機会の増加や住民同士の交流、地域のお店等への経済効果などを目的し、地域企業が運行する通勤バスの稼働しない日中の時間帯を活用して運行するものです。

今年度は、地域交通政策の専門家のアドバイスを受けながら、地域の方々からモニター(協力者)を募り、試験的に運行内容などの実証実験を行います。



乗車ポイント(予定)



- 産電工業
- 荒井東市営住宅
- サンマルシェ
- 仙台ギグス
- 地下鉄東西線 荒井駅
- 荒井五丁目公園前
- 伊在二丁目公園前
- コメダ珈琲 仙台荒井店
- 七輝中央公園
- ファミリーマート 仙台荒井西店
- みやぎ生協 荒井店
- ヤマザク 荒井店
- セブンイレブン 仙台荒井梅ノ木店
- ハードオフ 仙台荒井店
- 西松屋仙台荒井店
- まるまつ 六丁の目店
- スーパービッグ 六丁の目店
- ローソン 仙台伊在店
- ヨークベニマル 六丁の目店裏
- セブンイレブン 仙台六丁の目東店
- かの耳鼻咽喉科 クリニック
- 荒井市営住宅
- ファミリーマート 若林荒井店
- ツルハドラッグ 仙台荒井東店
- 産電工業 1

○モニター(協力者)お申し込み方法○

● 右のQRコードを読み取り、Google フォームに必要事項を入力して送信してください



● 下の申込書に必要事項を記入の上、FAX送信してください



スマホで FAXで

荒井モビリティ実証実験モニター(協力者) 申込書 FAX.022-352-4789

名前					性別	男・女	年齢	歳
住所	〒 - -							
携帯番号	-	-	-	メール	@			

(2) 令和4年度事業の実施状況について

本日(11月1日)実証実験スタート



(2) 令和4年度事業の実施状況について

4. アンケート等による課題の整理と事業化の検討

▶ □ 実証実験運行終了後実施

(3) 審査会からの意見への対応について

- ・ コミュニティ循環バスの先行事例を参考にした、ビジネスモデルの構築を行っていただきたい。
- ・ 地域の事業者から協賛を得るなど、事業継続を意識した取り組みを行っていただきたい。

- 本事業では、地域交通政策の専門家のアドバイスを受けており、荒井モビリティの検討する上で、参考となる先行事例のうちいくつかの手法やシステムなども紹介いただいている。
- 事業者からの協賛については、今年度の実証実験の結果をふまえ、事業者への具体的な提案内容を検討していきたい。